

グローバルセミナー 「災害を考える」対談イベントシリーズ

第一回：災害対策の知識共有・動員の仕組み：日本の地域での経験・貢献
11月22日（水）12:15~13:30（最大延長）
オンライン（Zoom）開催

地震や津波などに加え、気候温暖化の影響による異常気象、パンデミックなど、**災害が加速度的に増えていく現代をどうやって生き抜くか？**

iCoToBa Nexusプロジェクトでは、行政面と文化面を考える**対談イベントシリーズ**で、県大の教員たちが**学際的な解決策を提案**します。

対談イベントをベースに**ドキュメンタリービデオ**を制作し、その成果は「愛知から考えたグローバル対策」として海外にも発信される予定です。**iCoToBa Nexusプロジェクトの学生メディア制作チーム**は、イベントの企画と司会を担当し、イベントで撮影した映像をベースに**ドキュメンタリービデオ**を制作します。

県大の教員と学生が協力して世界へ発信するこの活動の企画がここからスタートします。

第一回の対談イベントは**愛知県での活動を中心に、科学及び社会行政、デザイン**の側面に焦点をあて、**「災害に強い社会」**の形を幅広く議論します。

登壇者：清水宣明（愛知県立大学看護学部教授）
水津 功（愛知県立芸術大学美術学部教授）
野田博也（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科教授）

セミナーの視聴方法

県大のOffice365 Teamsで「コードでチームに参加する」に チームコード「4jw5fa8」を入力し、「Global / iCoToBa」のチームに参加してください。前日までに、セミナーを視聴するためのZOOMのリンクをお知らせします。